

2018年6月4日

No. 18 146

株式会社 伊予銀行

新ファンドの取扱いを開始します！

～幅広い資産運用ニーズにお応えするために～

株式会社伊予銀行(頭取 大塚 岩男)は、投資信託の新ファンドの取扱いを開始いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

今回、取扱いを開始するファンドは、世界経済の成長の恩恵を享受することができる「グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(愛称:未来の世界)」と、次世代通信規格「5G」をテーマとした「次世代通信関連世界株式戦略ファンド(愛称:THE 5G)」の2ファンドです。

記

取扱開始日

2018年6月11日(月)

新ファンド

ファンド名	決算頻度	運用会社
グローバル・ハイクオリティ 成長株式ファンド (限定為替ヘッジ/為替ヘッジなし)	年1回 (積立投信対象)	アセットマネジメントOne
次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	年1回 (積立投信対象)	三井住友トラスト・ アセットマネジメント

以上

新ファンドの概要

ファンド名	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド (限定為替ヘッジ)	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド
運用会社	アセットマネジメントOne		三井住友トラスト・アセットマネジメント
主な投資対象	内外株式		内外株式
特徴	世界の上場株式に投資を行い、世界経済の成長の恩恵を享受できる。		次世代通信規格「5G」をテーマに幅広い関連産業に投資し、中長期投資に適した運用を行う。
設定日	2016年9月		2017年12月
決算頻度	年1回		年1回
積立投信	対象		対象
販売時手数料	1億円未満：3.24%（税込み） 1億円以上：1.08%（税込み）		1億円未満：3.24%（税込み） 1億円以上：1.08%（税込み）
運用管理費用	年1.836%（税込み）		年1.8264%
信託財産留保額	0.3%		なし
純資産残高 (2018.4.26現在)	639億円	2,758億円	579億円

【投資信託に関するご留意事項】

- ・投資信託は預金商品ではなく、投資元本および収益分配金を保証する商品ではありません。
- ・投資信託は、預金保険の対象ではありません。四国アライアンス証券の運用口座で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象であり、伊予銀行の証券取引口座で取り扱う投資信託は投資者保護基金の対象外です。
- ・投資信託は、値動きのある有価証券等に投資するため、信託財産に組み入れられた株価や債券価格の変動、金利変動、外貨建資産に投資している場合には為替相場の変動などにより、お受取金額が投資元本を下回ることがあります。価格変動要因については、取扱店にお問い合わせのうえ、ご確認ください。
- ・投資信託の運用による収益および損失は、すべてお客さまに帰属します。
- ・投資信託をご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客さまの判断でお選びください。
- ・投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面は、当行の本・支店等にご用意しております。
- ・投資信託には購入時手数料【約定金額に対し最高3.78%＜税込み＞】ならびに解約時の信託財産留保額【解約時の基準価額に対し最高1.0%】が必要となり、保有期間中は運用管理費用（信託報酬）【純資産総額に対し最高2.376%＜税込み＞】、監査費用、売買委託手数料、組入資産の保管時に要する諸費用等が信託財産から支払われます。当該費用の合計額については購入金額や保有期間等に応じて異なりますので表示することはできません。
- ・当資料は情報の提供を目的として伊予銀行が作成したものであり、投資勧誘をするものではありません。

株式会社伊予銀行（登録金融機関）
登録番号：四国財務局長（登金）第2号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

商号：四国アライアンス証券株式会社
金融商品取引業者：四国財務局長（金商）第21号
加入協会：日本証券業協会